

**経済産業省「デジタルトランスフォーメーション銘柄(DX 銘柄)2020」に選定
「医・食・住」に関する社会的課題を解決する取り組みが高評価!!**

株式会社トプコン（本社：東京都板橋区、代表取締役社長：平野 聡）は、このたび経済産業省と東京証券取引所が共同で選定する「デジタルトランスフォーメーション銘柄（DX 銘柄）2020」に選ばれました。

近年 AI、IoT、ビッグデータ等のデジタル技術を前提として、ビジネスモデル等を抜本的に変革し、新たな成長・競争力強化につなげていく「デジタルトランスフォーメーション(DX)」のグローバルな潮流が起きていることを踏まえ、DX 活用による革新的な生産性の向上、既存ビジネスの変革、新規ビジネスの創出に取り組む企業を、本年より「デジタルトランスフォーメーション銘柄(DX 銘柄)」として選定をするもので、東京証券取引所の国内上場企業 約 3,700 社（一部、二部、マザーズ、JASDAQ）を対象として、総合評価点の最も高い企業 35 社が選出されました。



DX 銘柄 2020
Digital Transformation

当社は経営理念に『「医・食・住」に関する社会的課題を解決し、豊かな社会づくりに貢献します。』を掲げ、「医」、「食」、「住」それぞれの分野における社会的課題に対し、DX ソリューションで解決を目指す取り組みを推進しています。

経済産業省発表資料

株式会社トプコン
(精密機器 / 7732)

DX銘柄2020
Digital Transformation

「医・食・住」に関する社会的課題を解決し、豊かな社会づくりに貢献します。

経営ビジョンにおけるDXの位置づけ
トプコンの事業領域である「医・食・住」の分野は、それぞれ社会的課題に直面しており、どれも大きな産業にもかかわらず、IT化・自動化が遅れています。これらの社会的課題に対し、精密GNSS、3次元計測、光学やセンシング・制御技術などのトプコン独自技術をもとに、さらには、グローバルな組織体制のもと、IoTとネットワーク技術を活用したDXソリューションで解決することを中期経営計画に掲げ取り組んでいます。

DXによる「医・食・住」のイノベーション

医 「眼健診(スクリーニング)の仕組みづくり
世界的な高齢化に伴い眼疾患が増加する一方で、眼科医の不足が社会的課題となっています。トプコンは、眼科専門医以外でも取り扱えるフルオート検査機器とICTを活用し、遠隔診断やAI自動診断を可能にする仕組みを構築。かかりつけ医や、眼鏡店・ドラッグストア等を活用した眼の健診(スクリーニング)にフォーカスしたDXソリューションを実現。眼疾患の早期発見・早期治療に貢献しています。
※日本においては 医師不在の眼鏡店等は対象外

食 「農業の工場化」で営農サイクルを一元管理
世界的な人口増加に伴う食糧不足への懸念が社会的課題となっています。トプコンは農機の自動運転システムやレーザー式生育センサーにより、これまで経験と勘に依存していた計画・播まき・育成・収穫の営農プロセスをデジタルデータで一元管理し、生産性や品質の向上を実現しています。

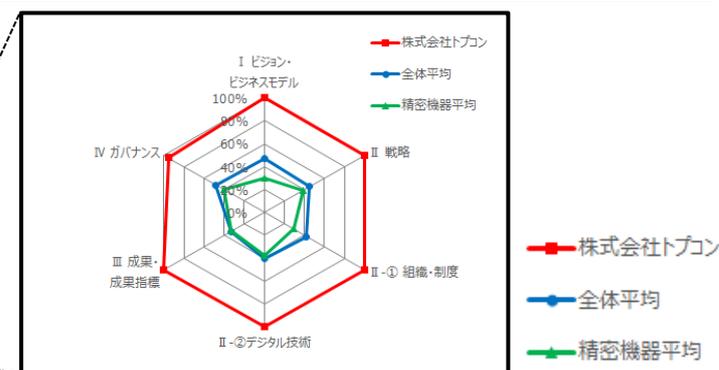
住 「建設工事の工場化」でワークフローを一元化
世界的なインフラ需要が増加する一方で、建設現場における技能者不足が社会的課題となっています。トプコンは、3次元計測システムやセンシング/制御技術の活用により建機を自動制御できるICT自動化施工システムを開発。「測量・設計・施工・検査」のワークフローを3Dデジタルデータで一元管理し、データ連携する事で、建設工事のワークフローをDXソリューションで効率化し、人手不足の解消と生産性向上に貢献しています。

DX調査・6評価軸の達成状況

コロナ禍における取組
医(ヘルスケア)の領域では、コロナ禍における新ニーズであるソーシャルディスタンスに予てより手掛けていたリモート検眼システムが合致し、主に欧米の眼鏡店の需要に対応しています。当社の強みであるフルオート技術・デジタル技術に加え、タブレットPCでリモート操作できるシステムのラインアップを拡張し、「ソーシャルディスタンス対応を可能にしたDXソリューションへの進化」を推進しています。

今回、「医」、「食」、「住」の事業領域において、新たな価値創造に向けた当社のビジネスモデルや成長戦略、それを支えるグローバルな組織改革や人材マネジメント、IT 環境の整備といった当社の総合的な取り組みが高く評価されました。

- 「医」社会的課題： 世界的な高齢化に伴う眼疾患の増加
DX ソリューション： 眼健診(スクリーニング)の仕組みづくり
- 「食」社会的課題： 世界的な人口増加に伴う食糧不足への懸念
DX ソリューション： 「農業の工場化」で営農サイクルを一元管理
- 「住」社会的課題： 世界的なインフラ需要に伴う技能者不足
DX ソリューション： 「建設工事の工場化」でワークフローを一元化



当社は、この度の「デジタルトランスフォーメーション銘柄（DX 銘柄）2020」選定を契機として、「医・食・住」に関する社会的課題の解決を目指して、持続的な成長と企業価値の更なる向上に努めて参ります。

（ご参考）

- 経済産業省 ニュースリリース：「DX 銘柄 2020」「DX 注目企業 2020」を選定しました

<https://www.meti.go.jp/press/2020/08/20200825001/20200825001.html>



- 東京証券取引所 マーケットニュース：「デジタルトランスフォーメーション銘柄 2020」の公表について

<https://www.jpx.co.jp/news/1120/20200825-01.html>



*DX：Digital Transformation

企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること。

【株式会社トプコン概要】

代表者：代表取締役社長 平野 聡

設立：1932年9月1日

資本金：16,680百万円（2020年3月末現在）

売上高：（連結）138,916百万円（2020年3月期）

上場証券取引所：東京証券取引所第一部〔証券コード：7732〕

社員数：（連結）4,939名（2020年3月末現在）

事業内容：ポジショニング（GNSS、マシンコントロールシステム、精密農業）、

スマートインフラ（測量機器、3次元計測）、

アイケア（眼科用検査・診断・治療機器、眼科用ネットワークシステム、眼鏡店向け機器）、

等の製造・販売

株式会社トプコン 広報・IR 室

〒174-8580 東京都板橋区蓮沼町 75-1 TEL:03-3558-2568